

報道関係者各位

2022 年 3 月 28 日
熊本市教育委員会
株式会社 Inspire High

熊本市と Inspire High が、不登校生向けオンライン学習支援に関する連携協定を締結。多様なロールモデルに出会い創造性を引き出すプログラムを実施。



熊本市教育委員会（以下、熊本市）と株式会社 Inspire High（以下、Inspire High）は、市内の不登校状態にある児童生徒に向けて、世界中の多様な生き方や価値観を知り、一人ひとりに眠る創造性を引き出す探究型オンラインプログラム『Inspire High』を提供していきます。

熊本市は、2020 年のコロナ禍の一斉休校時に、市内全ての小中学校をオンラインに移行したことも知られており、2022 年度からは、不登校生を対象とした「教育 ICT を活用したオンライン学習支援」を本格開始します。本連携は、その取り組みの一環として行われるものです。

Inspire High は、世界とつながる探究的な学びを手軽に教室やオンラインで実践できるプログラムです。主に中学校・高校で「総合的な探究・学習の時間」「特別活動」「道徳」「公共」などの授業や、各校独自のキャリア教育や SDGs 教育などに幅広く利用されています。

今回の連携で熊本市の不登校生に対してオンラインで Inspire High を提供することで、多様な大人の生き方や価値観にふれ、広く全国の同年代の考え方を知ること、自らの主体性や創造性、学習の内発的動機を高めることを目指します。同時に、熊本市内の中学、高校に対して様々な形で Inspire High の活用を促し、その効果を検証して参ります。

■本連携協定における連携事項

- (1) 熊本市の不登校児童生徒を対象としたオンラインによる学習支援（フレンドリーオンライン）に関する事
- (2) 熊本市におけるキャリア教育、創造性教育、探究学習に関する事
- (3) 熊本市の教職員の ICT プログラムの実施支援に関する事
- (4) 熊本市内の学校に対する探究型 EdTech プログラムの提供に関する事
- (5) その他双方が協議して必要と認める事業に関する事

■熊本市教育委員会 教育長 遠藤洋路より

本市教育委員会は、「豊かな人生とよりよい社会を創造するために、自ら考え主体的に行動できる人を育む」を基本理念に、誰一人取り残さない学習環境の整備に取り組んでいます。

Inspire High のプログラムは、子供たちが日頃出会うことがない様々な人の話に触れ、それぞれが感じたことを言葉にし、互いに交流しあうことで、子供たちが自らの生き方について主体的に考えることができるよう工夫されています。このプログラムを不登校生向けのオンライン学習支援に活用することによって、不安や悩みを抱える子供たちが、世界には多様な生き方や考え方があることを知り、自らの人生を前向きに捉える契機となることを期待しています。この共同の取組により、子供たちが自分の可能性をさらに広げ、それぞれの夢の実現につながるよう願っています。

■株式会社 Inspire High 代表取締役 杉浦太一より

Inspire High では、10 代をインスパイアするために多様な大人がガイドとして登場します。台湾のデジタル大臣、マサイ族の長老、映画監督、医者、漁師など、本当に様々です。その中で、広場恐怖症という病を患って外出しづらくなってしまった写真家があります。彼女とは、「”弱さ”とどう向き合う？」というテーマで考えます。ある一人の児童生徒に対して、どんな言葉が響くのかはわかりません。わからないからこそ、私たちにできることの一つはとにかく多様な価値観やロールモデルにふれる体験を届けること、そして一人ひとりに起こる変化をあたたく見守ることだと思えます。オンライン環境は、人を世界とつなぐことができる「ど

こでもドア」です。熊本市の児童生徒のみなさんと共に学び合えることをとても楽しみにしています。

■Inspire High とは



Inspire High は、世界中の創造力と 10 代をつなぐ EdTech プログラム。ICT を活用して、世界とつながる探究的な学びを手軽に教室で実践できることが特徴です。主に中学校・高校で「総合的な探究の時間」「特別活動」「道徳」「公共」などの授業での活用や、各校独自のキャリア教育や SDGs 教育などに幅広く利用されています。

予測不可能で不確実な時代において、新たな学習指導要領が「生きる力」を中心に改訂されたことから、未来を生き抜くための 21 世紀スキルおよび非認知スキルの重要性が高まっています。そんな中、Inspire High では、世界中の第一線で自分らしく活躍するクリエイティブに生きる大人たちと「答えのない問い」について考え、同世代で共有し合う双方向型の学びを 10 代に提供しています。

■プログラム例

台湾デジタル担当大臣オードリー・タンと考える「社会はどう変えられる？」

詩人 谷川俊太郎と考える「言葉ってなんだろう？」

お笑い芸人 渡辺直美と考える「自分らしさをどう見つける？」

マサイ族長老と考える「アイデンティティってなんだろう？」
国連職員と考える「平和ってなんだろう？」
オーストラリアの消防士と考える「気候変動をどう食い止める？」
失敗研究者と考える「失敗は怖いもの？」

他、起業家、科学者、ロボット開発者、漁師、消防士、映画監督、ファッションデザイナーなど多様な方々に登場いただいています。

■受賞歴など

- ・日本 e-learning 大賞 2021 経済産業大臣賞受賞
- ・Global Edtech Startup Award 日本予選最優秀賞受賞(日本代表)
- ・経済産業省『未来の教室』2020 年度実証事業採択
- ・経済産業省 EdTech 補助金 2020 年度、2021 年度対象事業

■学校・自治体向け資料ダウンロード

https://www.inspirehigh.com/school_contact

■説明会のご案内

経済産業省が実施している「EdTech 導入補助金（<https://www.edt-hojo.jp/>）」を活用いただくと、自治体や学校に経済的な負担のない形での導入が可能です。

Inspire High では、全国の小学校・中学校・高校および自治体の皆様を対象に、EdTech 導入補助金を活用した導入説明会を3月末～4月に開催しております。日時など詳細は以下の URL よりご確認ください、ご参加お願いいたします。

説明会の詳細

<https://www.inspirehigh.com/news/410d8760-a3b0-11ec-8309-3b04c25d79a5>

※Inspire High は 2022 年度 EdTech 導入補助金対象事業者として申請予定です。（2020 年度、2021 年度は対象事業者です）

■本件に関するお問い合わせ

熊本市教育委員会事務局 学校教育部 総合支援課 担当：須佐美・宮津
096-328-2743

株式会社 Inspire High 担当：小松

E-mail：info@inspirehigh.com

お問い合わせフォーム：<https://www.inspirehigh.com/contact/>